

学校教育目標 「心豊かな中学生」「自ら学ぶ中学生」「活力あふれる中学生」



常盤のみどり

第473号 令和5年 3月 1日(水)

さいたま市立常盤中学校

〒330-0075

さいたま市浦和区

針ヶ谷4-1-9

TEL 048-831-3189

FAX 048-830-1561

E-mail:tokiwa-j@saitama-city.ed.jp



花が枝からこぼれるように咲くしだれ梅。学問の神様、菅原道真が太宰府に左遷されたとき、育てていたしだれ梅が飛んで追いかけていったという伝説から、花言葉は「忠実」「高潔」など。

SINCE 1947

学ぶは楽し！



校長 渡邊 祐子

コロナ禍、学校では3年ぶりに館岩での自然の教室が実施できました。感染症回避からウィズ・コロナ生活へと移行してきた世の動きが、生徒の豊かな体験活動を支え、見守ってくれました。さらに一歩進んだ、次のステージももうそこまできています。

突然ですが…、「勉強は好きですか？」そう尋ねられて「はい」と即答できる方は少ないと思います。学生時代にあれこれ詰め込んだあの苦しい思い出がよみがえりますから。

では質問を変えて…、「新しいことを知るの好きですか？」例えば、新書を読んだり、情報を収集したり、新メニューを覚えて料理のレパートリーを増やしたり、技のコツをつかんでいいスイングができたり、楽器の音色が整ったり…。これまで知らなかったことが分かったりできなかったことができるようになったりするのは、誰にとってもうれしいことです。

古代ギリシャの哲学者ソクラテスは「無知の知」ということを説きました。自分には知らないことがまだまだたくさんあり、人はそれを自覚することが大切で、無知である自分に気づくとともに未知を学んで向上するという教えです。乳幼児期の子どもが何にでも興味をもつ姿はまさに知らないことを知る＝学ぶことに対する欲求、好奇心の表れです。新しいことを知ったり身につけたりしたときの喜びや感動・達成感を、私たちは生まれてからずっと体感し続けてきました。もちろん、その過程には辛く、逃げ出したくなるような時間もありました。

知らないことを知ると、自分の世界が広がります。これまで関心なかったことに興味をもつと、内面を豊かにするチャンスが増えます。それは幼子でも大人でも同じです。加えて、学びにはいわゆる勉強といわれるもののほか、個人で楽しむ趣味や巷の流行り、五感に伝わる刺激や感動等も含まれます。人との交流やYouTube、漫画等から得た情報もそうです。それらを知り、吸収できたとき、私たちは今よりも成長し、もっと豊かな生活を送れるようになります。そう考えると、学ぶとは何ともワクワクする、じつに楽しい行為といえませんか。

いつでもどこでも学べる環境にある現状に感謝しつつ、学びを楽しみ、好奇心旺盛な毎日をお過ごしたいと思います。今年度も地域、保護者の皆様には大変お世話になりました。